

大阪府 民生部 消防救助課
からの事務連絡に基づき
提出した被害状況調で
ある。

提出 昭和42年7月19日 (水)
午後4時

災害による死亡者 ( 氏)

にかかる「災害死亡者報告及び
死亡届の写」である。

。 災害による死亡者

。 氏名

。

。 死亡診断書の手数料 支払済み

12.000 市役所
12.000

災害死亡報告

本籍地

現在所

氏名

生

方

死因 同前171号線側溝工事施行中

午前2時20分頃の増水激流のため

吸水室息死したものと午前8時30分

検視医師

発見時刻

東方150米地奥

。 揚市 42.7.10 午前7時45分

本件は検視後遺体は私に引渡され、現在
中城常務委員に安置されている。いかに深刻
も同様に知られるべきであります。

茂木路素捜査課 確認

市役所経生課

昭和42年7月10日

加井三郎 印

負傷者の状況調

負傷者の状況調

○ 小田 清治

負傷

生

茨木市消防団清溪分団 第8班長 (拜命 昭.22.1.1 ~ 昭.30.4.2)
昭.34.1.1 ~

昭和42年7月12日午前1時20分頃 泉原西1谷において水防
作業中負傷(頭部外傷及び腰部、左肘部打撲)し河合外科
病院に入院した。全治2週間の見込

○ 木村 英和

負傷

生

茨木市消防団 福井分団員 (拜命 昭.40.2.1)

昭和42年7月12日午後2時20分頃 上福井において、ヘルメットを
着用し、水防作業中頭部に材木が強くあたり脳振盪をおこし
メディカルセンター西部診療所の治療(及び、目の処置)を受け帰宅した。

以下、現在の北春日丘4丁目

○

方で負傷

住所

生

受へ家事手伝いに来ている。家屋

{ 7/19 病院の話し 全治 3月
{ 7/20 氏 全治 4月

全壊の生埋めとなり負傷したものである。なお、当日

氏には

がいた。(氏は不在)

昭和 42 年 7 月 9 日午後 9 時 30 分頃 背後の山からずり落ち、家屋が
全壊し、全員が下敷とばれたが、氏を除いて無傷で救出された。

本人は、テレビをもって腹部を強圧し、骨盤骨折及び膀胱裂傷の重傷
を負い、済生会茨木分院に搬送された。(茨木市山田別所 伊駒建設所有

トランク使用)治療を受け入院した。全治の見込期間は 3 月である。

(7 月 13 日レントゲン撮影、7 月 14 日朝体温 37 度 6 分、意識明瞭、重湯採取)

なお、救助及び病院への搬送については、山田別所 91 伊駒建設の
人々及び附近住民の協力が貴重であった。

協力関係者

(氏)

伊駒建設の人々(山田別所 91)

(氏)

同じく

○

で負傷

住所

生

宅へ家事手伝いに来ていて、昭和 42 年 7 月 9 日
午後 9 時 30 分頃 家屋全壊の下敷となり、全身挫創兼挫傷の負傷を
負い、済生会 茨木分院で治療を受けた。(7 月 10 日、11 日及び 12 日)
全治の見込期間は 1 週間である。

同じく

○

TEL

生

昭和 42 年 7 月 9 日 午後 11 時頃 自宅付近で 屋外においてある物
を整理中、流れて来た木材等がふたり、顔面肩ものあたり、左足
いざ部分に切創を受けた。(頭部外傷 1-2 型、前顔部挫創、
左眼窩部皮下出血、左鎖骨部左膝下腿挫傷、胸部挫傷) 2 日後
の 7 月 11 日から 済生会 茨木分院で健保により治療を受けている。
全治 2 週間の見込である。

同じく

○

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted] 生 [Redacted]

本人所有家屋で真向いの [Redacted] 居住の家屋が昭和42年
7月9日 午後9時30分頃全壊したので、自宅を飛出し [Redacted]
等の救出に従事中、両足挫傷の負傷を受け、済生会 茨木分院で治
療を受けた。(7月9日) 全治2週間の見込である。

なお、7月10日以後は、河合外科病院で治療を受けている。
(7/9 病院の証書)
(7/20 本人の申立)

阪急東

○

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted] 生 [Redacted]

昭和42年7月9日、午後9時頃 外出先から乗用車で帰る途中、
運行不能により、裸足で帰宅し、自宅庭付近の会所にはまり、左足
親指切創し、毎木町吉川診療所で7針縫合の治療を受けた。
なお、健保により、治療を受け、初診料 100円、破傷風ワクチン200円
(さらに、2回目ワクチン使用により 200円) を本人が負担している。
全治 20日間の見込である。

○

[Redacted]

福井小学校 委託校務員

[Redacted]

生

昭和 42 年 7 月 9 日 避難所: 福井公民館から福井農協へ

避難者(幼児)を移す際、鉄板にて、アークスの足をすりおろし、また
足首を痛めた。

学校救急薬品で処置し、治療を受けている。

翌日から出勤している。

○

生

右大腿部打撲